

# The magazine for staffs of ABC tenpo ABC TENPO NEWS 2017



ABC店舗スタッフのご家族の皆さま  
こんにちは、ABC店舗 総務部 人事担当の徳永です。

ご承知の通り、私どもABC店舗は飲食店向けの店舗不動産の商品開発、企画、提案を主とした事業を展開しております。

その中で本年はABC店舗を通じて出店されたお客様を支援したいとの思いから、マーケティング部企画課を設立し、新たなサービス開発を行いました。

「お客様の利益アップを！」をテーマに展開しました本サービス、内容はレジシステム導入、会計コンサル、インフラの低価格提供、セミナーの実施と多岐にわたっております。

このサービス実現の裏では企画課のメンバーのみならず、あらゆる部門のスタッフが知恵を出し、企画→提案→改善を繰り返しておりましたが、ようやく形になり、お客様に喜んでいただけるようになりました。

2018年はこれまで以上の営業規模拡大を目指すとともに、働き方改革も推し進め誰もが働きやすく働きがいのある職場環境の実現をはかっています。

本年もご家族の皆さまに私どもの日頃の様子をお伝えしたいと考え、本紙ABC TENPO NEWSを取りまとめさせていただきました。

お楽しみいただけますと幸いです。

## トピックス

- 3月 恒例の社員総会、ヒルトン小田原にて開催
- 4月 今年もフレッシュな新卒社員が5名入社しました！
- 9月 働き方改革スタート！  
(テレワーク導入、残業時間ゼロプロジェクト)
- 12月 社内版MBA開講  
全社忘年会(高尾山登山・うかい亭での宴席)開催  
OWNER'S NEWS および ABC TENPO NEWS 発行



## 受賞

### ★ エン・ジャパン株式会社よりエンカレッジアワード最優秀賞受賞



人材採用・入社後活躍支援を行っているエン・ジャパン株式会社が社員の活躍・定着を支援するための教育サービスとして展開している研修「エンカレッジ」。

ABC店舗は2016年に研修制度の拡充の一環でこの「エンカレッジ」を導入しました。この「エンカレッジ」の導入によってABC店舗のスタッフ1人1人に自ら学び、学びを実務に活かすという学習スタイルが定着しました。

その結果、教育を通じた生産性向上や組織改革の成果をあげた企業を表彰するエンカレッジアワードにおいて、約500社の中から最優秀賞をいただきました。

### ★ ABC 店舗 × 大学の共同研究 人工知能学会全国大会で優秀賞を受賞



ABC店舗は、2011年より奈良先端科学技術大学院大学と立命館大学と共同開発で、「飲食店舗の賃料推定システム」の研究をおこなっております。その共同開発で取り組まれた「暗黙知センシングに基づいた飲食店向き不動産店舗の賃料推定」が5月25日名古屋にて行われました「2017年度 人工知能学会全国大会」で発表されました。

本研究により開発された「飲食店舗の賃料推定システム」を利用することで、これまで近隣相場やベテラン営業マンの経験に頼りがちだった賃料査定において、科学技術の力=AIによって業務の効率化と標準化をはかり、より精度の高いサービスをお客様へ提供したいという思いから、この研究に取り組んでおります。

#### ● 過去にも本共同研究にて様々な賞を受賞

「DICIMO2016 ヤングリサーチ賞」「人工知能学会 研究会最優秀賞」「ARG 第7回Webインテリジェンスとインタラクション研究会」など。

## 掲載事例

- 7月 専門料理8月号「その道のプロ4人が徹底指南！開業準備、4つのプロセス」
- 8月 Business Insider Japan「都内駅でなぜ「駅隣」の人気飲食店が増えるのか？ 駅前2.5等地ブームの舞台裏」
- 11月 週刊ビル経営 「店舗物件の収益を最大化するABC店舗のサブリースの魅力に迫る」



産学連携 ABC店舗 × 大学の共同研究

★ 不動産テック AI・Iot

2011年より産学連携の取組みとして、奈良先端科学技術大学院大学 諏訪助教、立命館大学 小川助教とともに、不動産業界の実務に情報通信技術を取り入れる「不動産テック」の研究を進めています。

この産学連携によって「AIによる賃料査定システム」やAIによる物件紹介機能「チャットボット」の開発に取り組んでいます。また、このたび慶応義塾大学の新たに武藤佳恭先生にも参画いただき、よりスピードを上げ、生産性向上に取り組んでまいります。



慶応義塾大学  
 環境情報学部 教授  
 工学博士  
**武藤 佳恭** 教授



立命館大学 情報理工学専攻  
 情報システム学専攻 助教授  
 博士(工学)  
**小川 拓樹** 助教授(注)

講演

★ 電気通信大学の研究開発セミナーで代表 土井が講演を行いました



国立大学法人電気通信大学企画「企業戦略に役立つ産学連携への取り組み方」において「文理融合型産学連携による不動産業の経営変革」と題して講演を行いました。

産学連携が活発化する中で、企業がどのように産学連携に取り組めるか、改めて見直しを行う時期に来ています。

本セミナーでは、大学のシーズを活用した新しい事業開発テーマの創出、研究開発の促進、インターンシップ活用、文理融合、社内人材育成等の取組事例について講演いたしました。

社外監査役のご紹介

★ 宮下篤志さんのご紹介



本年2月、宮下篤志さんに社外監査役に就任いただきました。  
 フェリックス・パートナーズ株式会社 代表取締役  
 立教大学 ビジネスデザイン研修課 特任教授

社外研修 グロービス経営大学院 (MBA)



研修制度の拡充の一環ではじまりました「社内MBA」研修。記念すべき1回目の科目としてグロービス経営大学院にてクリティカル・シンキングの研修を開催しました。今回このクリティカル・シンキングの研修に30名ものスタッフが積極的に参加し、問題解決や資料作成とあらゆるビジネスシーンで役立てられる論理的思考法を身につけました。

ーグロービス経営大学院ー

ケース教材を用いたディスカッション中心の授業で「考える力」「伝える力」「人に動いてもらう力」を徹底的に鍛えあげるスタイルが特徴のビジネスパーソンを対象に実践的なMBA(経営学修士)プログラムを提供する文部科学省認可の専門職大学院。学べる科目は経営戦略やマーケティング、財務会計、人事、リーダーシップなど多岐に渡る。

メッセージ



ABC店舗スタッフのご家族の皆さまへ

日頃は、皆さまのご理解のもと、職場に集中できる環境を整えてくださりありがとうございます。

私たちのようなベンチャーは、スピードが第一、さらに高い成果を求められることもあり、日々、多忙を極めますが、その一方で自身のキャリア構築と圧倒的成長を目的とした研修の受講も求められます。研修においては、マナー、リーダーシップ、会計、マーケティングなど様々な実業務以外のスキルを学び、ひとりひとりのキャリア育成を大切に考えています。

来年度は、ふたつの計画がはじまります。ひとつは「社内MBAの開講」、もうひとつは「時間短縮(残業ゼロ・毎週金曜日16時退社)」を実施します。これは、業務が多忙にもかかわらず、学びの時間を確保し、更には残業をしない=より効率的に成果を出すというものです。

現在、いくつかの部署は業務内容を抜本的に見直しし、時間を削減しつつ生産性を維持することを実現させています。

このような日々のがんばりを「身近な、最も大切な方に、誇れる場面をつくらう」という人事の企画で、

- ① 上司・同僚からの手紙
- ② おせち
- ③ ABC TENPO NEWS(本紙)

以上、3点をご送付いたしております。  
 年末、ご多忙の折ではございますが、お身体に気をつけて良き新年をお迎えくださいませ。  
 来年度もどうぞよろしくお願い致します。

土井 恭一



